

IRIS CLUB Information for our members

KŌEKISHA アイリスクラブ事務局



0120-333-838

〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地 株式会社公益社

<https://shiga-koekisha.co.jp>

IRIS(アイリス)は、菖蒲・花菖蒲など、あやめ科の植物を表す言葉ですが、ギリシャ神話では「虹の女神」のことをいいます。アイリスクラブ通信「虹」は、私どもとみなさまを結ぶ架け橋として、楽しんでいただけるよう、また、お役にたてるようにと願い、会員のみなさまにだけお届けしております。

RE  
DISCOVER  
NIPPON

知っていそうで知らない ニッポン再発見 ③⑧

NHK朝の連ドラ主人公 牧野富太郎

4月から連続テレビ小説「らんまん」が始まり気になっている。物語の主人公牧野富太郎は文久2年(1862)、現在の高知県高岡郡佐川町、土佐の生まれである。94歳で亡くなるまでに収集した標本は約40万枚。命名は2500種以上(新種1000、新変種1500)、自らの新種発見も600種余りとされる。日本植物分類学の基礎を築き、「日本の植物学の父」として知られる人物である。

明治14年(1881)、19歳のときに単身伊吹山に登り、珍しいスマレを見つけた。このスマレが後に外来種「ヴィオラ・ミラビリス」であることが判明し、「イブキスマレ」と和名が付けられることになる。地理的、地質的、気候的な立地条件から伊吹山にのみ自生する「イブキ〜」と名が付いた植物など固有種も多い。織田信長が薬草を栽培するため、ポルトガル宣教師に伊吹山で土地を与え、ヨーロッパから約3,000種類もの薬草を移植したことも関係するのかもしれない。

## オオトックリイチゴ

彦根城の固有種「オオトックリイチゴ」も富太郎の発見である。彦根城に登ると鐘の丸売店横に大きな看板があるのだが、案外知らない人が多い。『自生の「ナワシロイチゴ」と中国・朝鮮半島原産の「トックリイチゴ」が自然交配して生まれた雑種であると考えられています。6月に開花し紅紫色の5枚の小さな花弁をつ

けます。そして7月になると淡紅色に熟した果実が実ります。

日本の植物学の父である牧野富太郎が明治27年に発見。その後、イチゴの精子発見者として世界的に知られる平瀬作五郎が牧野の依頼で標本を製作し、共同で学会誌に発表しました。学名には牧野と平瀬の名が記されています。』と記されている。

彦根城は滋賀県と彦根市が2025年に世界文化遺産登録を目指している。世界の歴史の1頁として記されるのは誇らしく、登録を機に多くの未評価の文化資源の発掘がなされ、顕彰されることを願っている。

「オオトックリイチゴ」はその代表だろう。学名を「*Rubus Hiraseanus Makino*」という。日本の植物学の大家、牧野富太郎と平瀬作五郎、偉大な2人の名がある。

## 牧野と平瀬

オオトックリイチゴは、明治27年(1894)11月、牧野が伊吹山の植物採集の途次に彦根城に立ち寄った際、表御殿跡で発見したという。この時は茎葉(けいよう)だけだったため、明治34年(1901)と35年(1902)に平瀬作五郎に標本を依頼。平瀬はオオトックリイチゴの果実と花のついた標本を作成し牧野に送った。この標本により牧野は新種と判断し、明治35年に『植物学雑誌』第16巻に発表した。

牧野は、明治21年(1888)26歳の時、旧彦

根藩士小澤一政の次女壽衛(すえ)と結婚している。牧野が彦根城を訪れたのも、そんな縁があったからだろうか……。

さて、平瀬作五郎は「イチゴ精子」を発見した人物だ。植物学上の世界的な大発見であるといわれている。平瀬は彦根尋常中学校(現在の滋賀県立彦根東高等学校)に明治30年~明治37年(1897~1904)まで勤務していた。

牧野が平瀬に標本を依頼したのは、明治34年7月と35年6月。牧野が明治27年に茎葉を発見してから、標本づくりを依頼するまで7年。何故7年のタイムラグが生じたのか、実に面白い謎である。

イチゴの季節である。豪華な苺ばかり注目されがちだが、小さく可憐な木イチゴに気持ちが動く。知識を得ることで世界は広がっていくのである。

雲行



大洞弁財天より

Hikone Castle Town  
彦根城を世界遺産に

彦根城/彦根市金亀町1

●JR琵琶湖線・近江鉄道「彦根」駅下車。

徒歩約15分。

名神彦根ICから車で10~15分



## 春の大感謝祭

近江八幡



3月18日(土)午前10時より雨天の中、開催させていただきました。悪天候にもかかわらず約150名の方にご来場いただき、『人形法要祭』公益社名物『花ひろば市』を中心に会場は賑わった1日となりました。

人形法要祭は前日より受付させていただいたこともあり約800体のお人形やぬいぐるみを祭壇に並べて、臨済宗高源寺さまの読経のもと供養させていただきました。長年そばにいてくれたお人形やぬいぐるみに感謝しながらのお別れとなりました。

土曜日の開催ということもありお子様連れの方も多数お越しください、お菓子のつかみ取りや誕生石プレス作りも楽しんでおられました。

彦根

3月25日(土)午前10時より開催させていただきました。

こちらも雨天の開催となりましたが、約220名の方にご来場いただきました。18日開催の近江八幡と同様、お子様連れの方も多くたいへん賑わいました。

たくさんのお人形やぬいぐるみをお持ちいただいたの法要にもみなさまご参列くださいました。

また、公益社名物の『花ひろば市』にもたくさんの方にお越しいただきました。当社直営のお花屋さん【フラワーガーデンアイリス】の常連のお客さまにも多数ご来店いただくことができ、イベントならではのお花の販売もあったため、「いつもと違う花があるね」「すごく安いからたくさん買いすぎた」などのお声を聞かせていただくことができました。



お知らせ

次回は秋に【公益会館八日市】【公益会館多賀】で開催を予定しておりますので、今回参加していただいた方も、参加できなかった方もぜひご来場ください。お待ちしております。

## 滋賀県総合防災訓練

2月9日(木)東近江市の滋賀県警察本部生活安全部機動警察隊のグラウンド及び体育館で、昨年の秋に続き大規模災害訓練が行われました。停滞する前線が活発になり局地的な豪雨が数日間続いたことから東近江市を中心に河川の氾濫や土砂崩れが起り、家屋や車両の埋没などが発生したとの想定で、警察庁をはじめ二府四県の機動隊員が参加しました。

私たち滋賀県葬祭事業協同組合員も参加させていただき、ご遺体の安置・納棺の指導訓練を警察官とともに実施しました。

今回は災害時の初期活動を見学することができ、交通信号機の復旧作業や車両の埋没からの救助訓練、被害状況を把握するバイク隊の活動などを目の当たりにし、とても頼もしく感じました。もしもの時に備え、私たちが防災グッズや避難場所を確認しておきましょう。



## 蚊相撲を記憶せよ！

ここ数年、猛暑を通り過ぎ酷暑といわれるようになり、平地では蚊も少なくなった。真夏は別として、そろそろ吸血昆虫「蚊」の季節である。

『蚊相撲』という狂言がある。「蚊の精」が登場するのだが、『犬夜叉』（高橋留美子作 少年漫画／アニメ）の蚤の妖怪「冥加」のように危険が迫ると真っ先に逃げ出す臆病者ではない。江州守山出身の蚊の精は、「この頃都には相撲がはやると申すによって、其（それがし）も相撲取となり人間に近付き、思ふままに血を吸はうと存ずる」と野望をもっている。

『蚊相撲』では、大名と蚊の精が相撲をとる。相手が蚊の精とは知らない大名は、四つに組もうとすると身をかかわされ、羽で隠したくちで血を吸われ、くらくらと目を回す。蝶のように舞い蜂のように刺すような見事な取り口である。

「彼奴（きやつ）の国は何処とやら」と大名が尋ねると、太郎冠者は「江州守山ぢや、と申してござる」という。「江州守山は蚊所で、昔も人ほどの蚊が出て人間に近付き血を吸うたと聞いたが。ハハア、さては彼奴は蚊の精であらう」「総じて蚊といふものは風を嫌ふものぢやによって、この度は汝精を出て扇げ」と太郎冠者に命じて反撃による。勝敗の行方はさておき、「江州守山」と聞いただけで「蚊所」「蚊の精」と思い至るところも「人ほどの蚊が出て」というのも実に面白い。

考えてみれば水が豊富で藪も多く、城や城跡、田んぼの用水、更には社寺の結界を巡らす川など、近江は蚊にとっては最高の生活環境が整っているのだ。「彦根名物マラリア」といわれた時代もあったというし、蚊帳（かや）の産地だったこともうなずける。

四季の移り変わりが極端で、一気に初夏も過ぎてしまいそうだ。蚊のいない夏は「日本の夏」と言えるのか……。メタバースの時代である。そのうち仮想空間歳時記も誕生するのだろうか。リアルな歳時記や風物詩を記憶に留めておく努力が必要な時代である。

## Happy Mother's Day

こんにちは、アイリスです。

新緑がまぶしくなる5月は「母の月」、そして今年は5月14日が「母の日」。「母の日」が生まれたのは20世紀初めのアメリカ。1人の女性が亡き母を偲ぶ会で参列者に母の好きだったカーネーションを配ったことが始まりでした。このことから、カーネーションが「母を想う花」になったといわれています。

今回はこのカーネーションについて少しお話しますね。

実はカーネーションって撫子の仲間で、17世紀頃のイギリスやオランダでは、すでに300品種もあったといわれるんですが、2013年には日本での遺伝子解析が進み、より進化し始めました。今までになかった色や、病気に強い品種の開発が現在も進められています。新しい品種もどんどん増え、今では枝分かれタイプも合わせると約1,000種類以上あることをご存知ですか？ 色や咲き方、花びらのフリルの形など様々な品種に分かれていて、定番色だけでも8色ほど、混じりといわれる混合色や、ふちどりが別の色であったりと多種多様です。名前もいろいろあって覚えきれないくらい!! まだまだ可能性がひろがる花なんです。



せっかくなので今年の母の日はお母様のイメージに合わせてカーネーションを選んでみてはいかがでしょうか。

いつも元気な若々しいお母様には  
黄色やオレンジのビタミンカラーで

ふんわり、やわらかい印象のお母様には  
ピンク系で可愛く

優雅でエレガントなお母様には  
紫や深紅にユリを足して

毎日頑張っているお母様には  
緑やベージュのナチュラル系で癒しを



ハハノヒアレンジ  
¥2,000



ハハノヒアレンジ  
¥4,000



カーネーション鉢植え  
¥1,500～



プリザボトルフラワーアレンジ  
¥2,500(ライト付)



紫陽花 各種 ¥2,000～

最近は紫陽花の鉢植えを送る方も多く、長く楽しむ花の時期が過ぎても次の年も咲く楽しみや、小さい花が集まって咲く姿が「家族だんらん」のイメージともいわれ人気です。

\*写真はイメージです。仕入れ状況によって花材が変わる場合があります。アイリスでは、他にも各種取り揃えております。ぜひ見に来てください。

感染者数の落ち着きと3月13日のマスク着用の政府方針転換、5月8日の2類から5類への引き下げにより、アフターコロナの生活も見えてきました。コロナ禍で行政やモラルによる様々な制約があったご葬儀についても、少しずつではありますが、コロナ以前の形式や規模、慣習などが戻りつつあります。

ではアフターコロナに向かうご葬儀はどのような変化があるのか考えてみましょう。

### 葬儀の人数・形式

コロナ禍では、感染防止の観点により、極力参列者を減らすという傾向がありました。

このため、親族知人への告知をあまり行わず、通夜、本葬という2日かけた本来の葬儀形式はあまり行われなくなり、参列者を最小限に限定した1日葬の家族葬や火葬式(直葬)が主流となりました。

家族葬が主流の傾向はコロナ前から続いていましたので、それは変わりませんが、アフターコロナに向かい今後は参列者人数が増加していきます。1日葬から本来の葬儀の形である、前日晩に通夜を行うといった傾向が増えており、継続していくと思われま

### マスク着用

着用義務は緩和されましたが、多くの参列者や不特定多数の人が集う葬儀では、マスク着用が推奨される状況であることに変わりはありません。

感染リスクの低下に伴い、マスク着用の必要性も低下していくと思われま

### 葬儀の告知

コロナ禍での家族葬では、亡くなったことを伝えず、葬儀終了後に通知する形式が多くあ

りました。今後この傾向は減っていき、参列者を近親者に絞るにせよ、家族葬で行う旨の告知はコロナ以前に戻ると考えられます。

コロナ禍で設けられた、多くの決まりやモラルが一気に変わることはありませんが、「故人への哀悼を捧げご遺族の絆を深める」といったご葬儀本来の意味において、参列者の表情が伝わる意味や葬儀の自由度はとても大切なものです。感染の気兼ねなく、自由なご葬儀ができる時代が1日も早く訪れることを祈念しております。



## みなさまのおたよりから

- 毎回、アイリスクラブ通信を楽しみにしております。特にニッポン再発見には興味ある内容で身近なものに驚きをもって読ませていただいております。(彦根市：男性)
- 喪中花があるのを知り、何だか安心した気分になりました。大切な人を失った心にも新年として、少しでも寄り添えればいいなあと思います。(彦根市：女性)
- 『人形法要』ものすごく気になっていました。人形はやはり、必要なくなっても簡単には捨てられません。法要してもらえると納得して『ありがとう』の気持ちで見送れますね。ぜひ今度、参加させてもらいたいです。(彦根市：女性)
- アイリスのお正月花、とてもオシャレでセンスの良さが伝わってきました。和洋折衷の伝統と革新、今風でいて昔ながらのお正月を大切に迎える感じが公益社らしくていいなあと思います。(東近江市：女性)
- ニッポン再発見、行ってみたいなと思える記事で楽しく読ませてもらっています。(近江八幡市：女性)
- 美化活動として、草むしり、ゴミ拾いと残暑厳しい中、ありがとうございました。自動車を走らせていて雑草がないと、スッキリして気持ちいいです。お疲れ様でした。(彦根市：女性)

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地  
TEL.0749(22)5000 FAX.0749(22)0042

<https://shiga-koekisha.co.jp>

滋賀公益社

検索



ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

0120-61-4000

会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて

ご愛読者プレゼント

patisserie Yugure

『焼き菓子詰め合わせ』

抽選で  
10  
名様に



- 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。

応募締切 2023年5月30日(火)必着

- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただきます。